

令和 8 年度

## 一般選抜（I 期）問題

試験日 1 月 31 日

# 日本史

試験開始までに下記の注意事項をよく読んでください。

### 注 意 事 項

- ① 試験開始の合図があるまで、問題冊子を開いてはいけません。
- ② 開始の合図後、解答用紙に「氏名」、「個人番号」を記入すること。
- ③ 受験票、筆記用具以外は、机の上に置かないこと。
- ④ 受験票は机の上に貼付してある「個人番号」の手前に置くこと。
- ⑤ 記述解答で、字数の指定がある問題では句読点は 1 字として数えること。
- ⑥ 試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁及び解答用紙の汚れ等に気付いた場合は、手を挙げて監督者に知らせること。
- ⑦ 試験中は退席しないこと。（気分が悪くなった場合は、手を挙げて監督者に知らせること）
- ⑧ 試験終了後、この問題冊子は持ち帰ること。

〔1〕次の文章は、2025年に起きた出来事を振り返った大学生優花と正史先生の会話である。この文章を読み、下記の問いに答えなさい。

優花：2025年といえば、大阪での万国博覧会開催が思い浮かびますね。ところで、万国博覧会（国際博覧会）は、いつから行われていたのですか？

正史：様々な物品を集めて展示する国内博覧会は、フランス革命期の<sup>(1)</sup>1798年、パリで開催されました。その後、規模が徐々に大きくなり、各国でも開催されるようになったため、フランスの首相が国際博覧会を提唱し、<sup>(2)</sup>1851年にロンドンで開催されました。これが万国博覧会の始まりです。

優花：日本との繋がりや、どうなっていたのですか？

正史：1862年の第2回ロンドン万博に、派欧使節団が視察に訪れています。通訳としてその使節団に加わった（①）は、盛況ぶりについて、「千八百六十二年龍動〔ロンドン〕ニ博覧場ヲ設ケ、毎日場ニ入ルモノ四五万ニ下ラス」（『西洋事情』）と書き残しています。また、このロンドン万博には、日本文化への関心が高かった初代駐日英国公使（②）が、自ら収集した日本品の出品を徳川幕府に申し入れ、展示されることになりました。

優花：それは個人の裁量で出品されたと思いますが、日本が公式に参加したのは、いつですか？

正史：1867年のパリ万博です。フランスの駐日公使（③）は、幕府に参加を勧め、出品とともに幕府の代表者をパリに派遣することを提案し、15代将軍（④）の名代として、水戸出身の徳川昭武が派遣されました。なお、この使節団には<sup>(3)</sup>渋沢栄一も随行しました。幕府は各藩にもパリ万博への参加を奨励し、薩摩・鍋島（佐賀）の両藩が出品を決めましたが、薩摩藩は、幕府とは無関係の立場で出品したことを現地の新聞を通じて宣伝しました。

優花：そのようなことを行ったら、薩摩藩は幕府からお咎めがあるはずですが、大丈夫だったのでしょうか？

正史：（⑤）によって徳川の時代が終わるのは、この直後の1867年10月のことで、幕府は薩摩藩の行動に対して有効な手を打つことができませんでし

た。

優花：明治政府として万博に参加したのは、いつだったのですか？

正史：1873年（明治6年）のウィーン万博です。事務総裁に<sup>(4)</sup>大隈重信、副総裁に<sup>(5)</sup>佐野常民が任命されました。なお、<sup>(6)</sup>使節団が、ウィーン万博を視察しています。

優花：国内でも、<sup>(6)</sup>内国勸業博覧会をはじめ、殖産興業政策の一環として多くの博覧会が開かれたのですね。

正史：1904～1905年の<sup>(7)</sup>戦争の戦勝を記念して、日本での万博開催が建議され、1912年（明治45年）を予定して、東京での「日本大博覧会」開催を決定しました。しかし、この計画は延期、そして中止となりました。なお、1902年に調印された<sup>(8)</sup>強化の観点で、1910年、ロンドンで日英博覧会が催されましたが、英国政府との共催ではなく、イギリスの一民間人の契約に基づいて開催されたものでした。

優花：日本で初めての万博は大阪ではなく東京での開催予定だったのですね。

正史：第一次世界大戦後の<sup>(7)</sup>1928年、「国際博覧会に関する条約」が採択されましたが、日本は非加盟でした。しかし、日本は皇紀2600年奉祝行事の一環として、<sup>(8)</sup>1940年の開催に向けて、「東西文化の融合」をテーマに東京万博が計画されました。残念ながら、<sup>(9)</sup>戦争の長期化に伴い、万博中止論が高まり、延期・中止となりました。

優花：東京万博は2回も中止になったのですね。

正史：第二次世界大戦後も、日本は海外で開催された博覧会に積極的に参加しました。また、1951年の<sup>(10)</sup>平和条約の締結、1956年の<sup>(11)</sup>への加盟があり、日本での万博開催の条件が整ってきました。さらに、1964年の東京<sup>(12)</sup>の開催は、万博開催の気運を高めていきました。そして、1965年に国際博覧会条約に加盟し、1970年に大阪での日本万国博覧会を開催しました。さらに、1975年に沖縄国際海洋博覧会、1985年に筑波研究学園都市で国際科学技術博覧会、1990年に大阪で国際花と緑の博覧会、2005年に「自然の叡智」をテーマとし、<sup>(13)</sup>県で日本国際博覧会「愛・地球博」が開催されました。

優花：キャラクターは、森の精モリゾーとキッコロでした。2025年には、20周年事業「20祭」が行われましたね。

問1 下線部(1)について、当時の日本の状況に合致している事象を、下記の語群から選び、記号で答えなさい。

- a 寛政の改革
- b 近藤重蔵らの千島探検
- c 伊能忠敬の蝦夷地調査
- d シーボルト事件

問2 下線部(2)について、当時の日本の状況に合致している事象を、下記の語群から選び、記号で答えなさい。

- a 日米和親条約の締結
- b 株仲間の解散
- c 株仲間の再興
- d 大塩平八郎の乱

問3 空欄（ ① ）～（ ⑬ ）に入る、適切な語句を、答えなさい。

問4 下線部(3)について、1883年に開業させ、1万錘の大規模経営に成功した会社を答えなさい。

問5 下線部(4)について、1898年にはじめての政党内閣を成立させ、首相になった。その時の政党名および内務大臣を答えなさい。

問6 下線部(5)について、西南戦争時に結成された博愛社が基になり、1887年の設立から現在まで続いている人道的支援活動を行う組織を答えなさい。

問7 下線部(6)について、1877年に、第1回が上野で開催されましたが、その時事務局が置かれた政府の機関を、下記の語群から選び、記号で答えなさい。

- a 内務省      b 外務省      c 工部省      d 大蔵省

問8 下線部(7)について、同年に起こった出来事を、下記の語群から選び、記号で答えなさい。

- a 関東大震災      b 張作霖爆殺事件      c 柳条湖事件  
d 盧溝橋事件

問9 下線部(8)について、同年に開催が計画されていた国家的な行事を答えなさい。  
また、当時の日本の状況に合致しない事象を、下記の語群から選び、記号で答えなさい。

- a 七・七禁令      b 砂糖・マッチなどの切符制      c 米の供出制  
d 闇市

問10 ( ⑩ ) の条約について、下記の説明で誤りのあるものを選び、記号で答えなさい。また、同日アメリカとの間で調印された条約を答えなさい。

- a 中華人民共和国は会議に招かれず、ソビエト連邦・中華民国は出席したが、調印しなかった。  
b 千島列島の放棄が定められたが、択捉島・国後島など、いわゆる北方領土はその放棄する領土に含まれていなかった。  
c アメリカをはじめ多くの交戦国が、賠償請求権を放棄した。  
d インド・ビルマ（ミャンマー）は条件案への不満から出席しなかった。

〔2〕次の史料を読み、下記の問いに答えなさい（史料は省略したり、書き改めたりしたところがある）。

〈A〉

侍が来ては買ってく高楊枝

① 役人の子はにぎにぎを能く覚え

（ ① ） 翁ぼちゃんと云ふと立ちどまり

五右衛門はなまにえの時一首よみ

抜かば抜け後で竹とはいはさぬぞ

〈B〉

歌よみは下手こそよけれ天地の 動き出してたまるものかは

② 世わたり春の野に出て若菜つむ わが衣手の雪も恥かし

③ 世の中に蚊ほどうるさきものはなし ぶんぶといふて夜もねられず

白河の清きに魚のすみかねて もとの濁りの（ ② ）こひしき

④ 太平の眠りをさます上喜撰 たった四はいで夜もねられず

問1 空欄（ ① ）に入る適切な人名を、下記から選び、記号で答えなさい。

a 芭蕉      b 一茶      c 漱石      d 子規

問2 Aの資料について、1765年に刊行された本、および選者を答えなさい。

問3 下線部(1)について、この句が風刺している、当時の役人の状況について、説明しなさい。また、1772年に側用人から老中になり、実権を握った人物を答えなさい。

問4 Bの資料は、貴族の和歌に対し、滑稽洒落を詠んだものである。これらの歌を何と呼ぶか答えなさい。

問5 下線部(2)について、作者を下記から選び、記号で答えなさい。

- a 石川雅望（宿屋飯盛）
- b 大田南畝（蜀山人）
- c 山東京伝
- d 恋川春町

問6 下線部(3)について、だれを風刺したものか、答えなさい。

問7 空欄（ ② ）に入る適切な語句を、答えなさい。

問8 下線部(4)について、何の出来事を詠んだものか、答えなさい。

〔3〕 次の文章を読み、下記の問いに答えなさい。

後嵯峨法皇が亡くなると、天皇家は後深草上皇の流れをくむ（①）統と亀山天皇の流れをくむ（②）統にわかれて、皇位の継承や院政をおこなう権利、天皇家領荘園の相続などをめぐって争い、両統が交代で皇位につく方式がとられるようになった。

このような中で（②）統から即位した（③）天皇は、親政を開始し、両統迭立の解消を目指し、天皇の権限強化を推し進めた。両統迭立を支持する幕府に不満をいっていた天皇は、討幕の計画を進めたが、失敗に終わり、天皇は隠岐に流され、（①）統の光厳天皇が即位した。

やがて、（③）天皇は隠岐から脱出し、<sup>(1)</sup>天皇の呼びかけに応じて討幕に立ちあがる者が増え、<sup>(2)</sup>1333年に（④）幕府は滅亡した。（③）天皇は、光厳天皇を廃して、<sup>(3)</sup>新しい政治を始めた。しかし、現実には天皇の力だけではおさめきれず、中央には（⑤）や幕府の引付を受け継いだ（⑥）などを設置し、諸国には国司と（⑦）を併置した。天皇中心の新政策は、それまでの武士の社会につくられた慣習を無視していたため、多くの武士の不満と抵抗を引きおこした。このような形勢をみて、足利尊氏は、<sup>(4)</sup>新政権に反旗をひるがえした。

1336年、京都を制圧した足利尊氏は、（①）統の（⑧）天皇を立て、政治方針を明らかにした（⑨）を定めた。これに対し（③）天皇は京都を逃れ、（⑩）の山中にこもって、正統の皇位にあることを主張した。ここに、（⑩）の南朝と京都の北朝が対立して、<sup>(5)</sup>南北朝の動乱が始まった。

問1 空欄（①）～（⑩）に入る適切な語句を、答えなさい。

問2 下線部(1)について、関東で挙兵して鎌倉を攻めた武将を答えなさい。

問3 下線部(2)について、最後の執権（得宗）を答えなさい。

問4 下線部(3)について、全ての土地所有権の確認には何を必要としたかを答えなさい。

問5 下線部(4)について、反旗をひるがえす機会となった、北条時行の反乱を何と呼ぶか、答えなさい。

問6 下線部(5)について、約何年続いたのか、答えなさい。

